

## 山岳トイレ導入事例データベース進捗状況について

以下に、山岳トイレ技術データベースのホームページ形成イメージを示す。

なお、画像は、現行のホームページを加工して作成されているもので、実際に公開されているものではありません。

環境省 環境技術実証事業

HOME >> 環境技術実証事業を探す / 山岳トイレ分野

環境技術を探す(実証試験の結果はこちらから)

山岳トイレ	排水処理	湖沼・海・環境改善	VOC対策	ヒートアイランド対策	化学物質の測定
-------	------	-----------	-------	------------	---------

### 山岳トイレ技術分野

[実証済の技術一覧はこちら](#)

[山岳地におけるし尿問題](#)

[山岳トイレ技術分野に用いられるし尿処理技術の分類](#)

[山岳トイレ技術データベース](#)

「山岳トイレ技術事例データベース」へのリンク



山岳地などの上下水道、商用電源、道路等のインフラの整備が不十分な地域、または自然環境の保全に配慮が必要な地域において、し尿を適切に処理するための技術です。

一般的なし尿処理方式と異なる点は、洗浄水やし尿処理水を原則として公共用水域に放流・排水しない自然環境に配慮した技術です。

処理水を放流しないためこの処理技術は、浄化槽法に定める浄化槽には該当せず、建築基準法に規定されている“くみ取り便所”としての扱いになっています。

▶ HOME ▶▶ 環境技術実証事業を探す / 山岳トイレ分野

- 山岳トイレ
- 排水処理
- 湖沼・海・環境改善
- VOC対策
- ヒートアイランド対策
- 化学物質の測定

## 山岳トイレ技術事例データベース

### 利用上の注意点

この事例データベースでは、実証済み技術を含む非放流式トイレ技術の導入事例を、ア～カの6つの視点で分類したもので、**技術を評価したものではありません**。技術選択のために必要な一側面からの参考情報であることに留意して閲覧してください。（適切な技術を選択するためには、その他様々な視点から複合的に検討することが必要です。）なお、事例データは平成21年度時点における本実証事業実施済み技術及び自然公園内に環境省及び地方公共団体が設置しているものを示したものです。

### 事例検索

- ア)電力の必要性で見る ⇒ [大](#)/[中](#)/[小](#) (大=250以上、中=250~100、小=100以下 (単位:kWh/月))
- イ)水の必要性で見る ⇒ [多](#)/[中](#)/[少](#) (多=10以上、中=10~5、小=5以下 (単位:t))
- ウ)輸送方法で見る ⇒ [自動車](#)/[ブルトラー](#)/[ヘリコプター](#)/[ケーブル](#)/[人力](#)/[その他](#)
- エ)最低気温で見る ⇒ [高](#)/[中](#)/[低](#) (高=5以上 中=5~-5 低=-5以下 (単位:°C))
- オ)設置エリアで見る ⇒ [山岳](#)/[山麓](#)/[海岸・海浜](#)/[離島](#)/[その他](#)
- カ)処理方式で見る ⇒ [浄化循環](#) (微生物を用いた生物学的な処理や、物理化学的な処理を行い、汚水を洗浄水として再利用)  
[土壌](#) (土壌粒子による吸着・ろ過や土壌微生物を利用して処理)  
[コンポスト](#) (木質系接触材の中に投入し、攪拌・送気を行い処理)  
[乾燥・焼却](#) (乾燥・焼却して、粉末化処理)  
[その他](#)

※技術分類表と解説は[コチラ](#)

### 非放流式以外のし尿処理方法(参考)

技術タイプ	特徴/留意点
<a href="#">公共下水道</a>	法により、下水処理場で汚水を処理することができる区域では、建物の所有者は公共下水道に接続するが義務付けられている。
<a href="#">浄化槽</a>	浄化槽法に基づく点検・管理が必要。処理水の放流先が必要。 <a href="#">環境省浄化槽サイト</a>
<a href="#">携帯トイレ</a>	排泄物をパッキングして持ち帰る。回収・廃棄には、地元自治体との調整が必要。
<a href="#">カードリッジ式</a>	汚水をカードリッジ式のタンクに貯留し、ヘリ等によって山麓等に下ろして汲取る。